

＜当財団SARIFの目標－新技術望遠鏡（3.8m分割鏡方式）の建設と一般にも開かれた天文台運営＞

●『東洋一の3.8m新技術望遠鏡を擁する天文台』を目指して、国立天文台の岡山観測所の場所に設置する計画の実現が近づいています。当財団では賛助会員の方々のご意見も聞きながら、一般にも開かれた特徴ある天文台になるようイベント企画を行って行きますので、今後とも賛助会員としてご指導、ご協力をよろしくお願いします。

●[賛助会員の申込](http://www.sarif.org/)は常時受け付けております。：http://www.sarif.org/ の入会案内をご覧くださいの上お申込み下さるようお願いいたします。

＜最新のトピックス＞

京都大学3.8m望遠鏡 秋の特別企画

おもしろ天文学セミナー「3.8m望遠鏡がひらく宇宙」詳細は[こちら](#)

講演①「銀河系の中心部のナゾにいでむ京大3.8m新望遠鏡」（長田哲也）

講演②「爆発だらけの宇宙と太陽」（柴田一成）

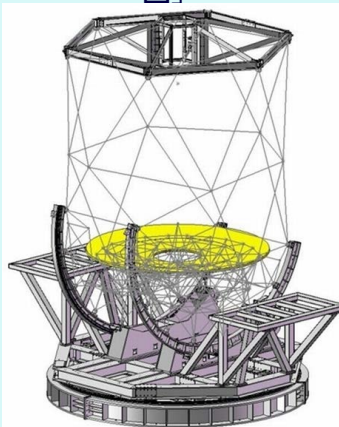
参考情報

財団の新事務局



高度軸駆動試験中の3.8m望遠鏡写真

超軽量の3.8m望遠鏡の構造を表す「デザイン線図」



●評議員会(2013-5-24)は、当財団の「主たる事務所」を京都府京都市に置くことを決め、新住所は以下のようになりました。

新住所(財団事務局)
〒606-8502 京都市左
京区北白川
京都大学理学部4号館
天文台分室内
SARIF事務局
電話(075)753-
3893、FAX(075)753-
4280

(なお、事務局は、当面事務局長：平野考世(こうせい)、および専務理事：舞原俊憲の体制で進めることになっています。)

---> メールでのご連絡は info@sarif.org 宛で)

＜今後のイベントプラン＞

●講演会、シンポジウム、ウェブ上の意見交換等々の財団活動へのご希望評議員や顧問の先生方は講演会などでお話をして戴けることになっています。こんな話を聞きたい、または天文や宇宙に関するこんな疑問がある、といったご希望で質問にお答えしていこうと思います。

数年後に完成する予定の3.8m望遠鏡は、一般の方々の提案や希望を取り入れた観測や観望会にも対応することを想定しています。

○最新の話

- ・明るくなってきたアイソン彗星の最新画像

- 三鷹・国立天文台における3.8m望遠鏡計画に関する講演会
(例)
- 望遠鏡プロジェクトの紹介
- 宇宙の謎解きへの挑戦の話
- 4次元シアターの見学
など



11月15日に南天の60cm望遠鏡で撮影されたアイソン彗星。(Ref: <http://www.eso.org/public/images/potw1346a/>)
この時点で、太陽からの距離は金星の公転軌道と同じくらいでしたが、11月29日には近日点を通過する予定です。
[国立天文台の「アイソン彗星情報」](#)によると、この後11月24日頃まで日の出前の東南の低い空に明るくなったアイソン彗星が見える可能性があるそうです。

★財団SARIFへのご支援（賛助会員として入会）もよろしく申し上げます。
具体的には、ホームページの「入会案内」から、新規入会および追加の会費納入などのご協力をお待ちしています。

---> http://www.sarif.org/member/member_info.html CopyRight_sarif.org(2013-2015)